

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04020100

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	17 上・下水道の整備	事業優先度	B	
単位施策	2 下水道の普及促進	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	浄化槽整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体	町	関係課	10 建設水道課	
事業指標	生活排水処理率		#N/A	
事業目標	100%	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加		関係例規・法令名	有 水質汚濁防止法・浄化槽法	
住民協働	無	関係個別計画名	有 一般廃棄物処理基本計画	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	公共下水道処理区域外の生活排水処理を充実させ、公共水域への環境負荷を解消するため、合併処理浄化槽設置者への補助金の交付。 ・ 住民負担額の95%を補助	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基	浄化槽設置者への補助金交付 設置予定基数 7基
	計 画 事 業 費	事業費(千円) 50,000 国庫支出金 4,550 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 45,450	10,000 910	10,000 910	10,000 910	10,000 910
実 績 事 業 費	事業費(千円) 10,887 国庫支出金 704 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 10,183	10,887 704	0	0	0	0
関 連 事 項	特定財源の名称 循環型社会形成推進交付金 【評価・実績】	(実施内容等) 合併処理浄化槽設置補助 合併処理浄化槽維持管理補助 ※前年度評価結果 C-継続/内容の見直し・変更	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 浄化槽設置基数	109% 浄化槽設置基数	0% 浄化槽設置基数	0% 浄化槽設置基数	0% 浄化槽設置基数
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 全体達成率	22% 22%	22% 22%	22% 22%	22% 22%
	事業進捗状況	☆☆☆☆				

事業名 浄化槽整備事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	淡路 至尊
	評価者 作成者 職氏名	環境衛生係長	苦米地 幸二

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	下水道処理区域外全戸	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	設置者への補助件数	
【抱える課題やニーズは】	生活排水未処理放流による公共水域への環境負荷	指標(指標計算式/解説)	目標年度及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	生活雑排水処理の充実	① 設置者補助件数	目標年度	平成25年度
			目標値	7基
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	下水道整備との連携で生活排水処理率を向上させる	② 維持管理者補助件数	実績値	8基
			達成度	114.3%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	合併処理浄化槽設置者に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置に係る経費の95%相当分を補助(下水道処理区域外)		
	合併処理浄化槽維持管理に対する補助金の交付	合併処理浄化槽維持管理費(法定検査及び保守点検)に一部を補助(上限25,000円)		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	公共水域の水質保全、快適な居住環境を確保するためには、生活雑排水の水洗化を図る必要があり、下水道処理区域外は合併処理浄化槽の普及を図る必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	合併処理浄化槽の設置者は増加傾向にあり、生活雑排水処理の充実が図られている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	補助金の交付申請の際に、合併処理浄化槽の設置に係る見積書を添付させており、工事内容等詳細の確認を行っていることから、事業費の抑制が図られている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	本事業は、下水道区域外が対象であるが、下水道処理区域外の生活雑排水処理の充実、公共水域の水質保全に寄与し、環境の保全・快適性の向上を図るものであることから公平と判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
合併処理浄化槽の普及は、公共用水域保全を行う上で有効な手段であり、今後も計画どおり事業を執り進めることが必要である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
公共下水道区域外の生活雑排水処理を充実させ、公共水域への環境負荷を解消するため、必要な事業であり、継続して執り進めることが必要である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止